

第3 今後の展望

令和元年度も「せせらぎスクール」に申込みのあった学校や団体等に必要な資材を提供し、また、せせらぎスクール指導者養成講座を開催して指導者養成に取り組めました。

「せせらぎスクール」に参加した学校や団体等からは、活動の写真や参加者の感想を福島県環境創造センターにお寄せいただき、それぞれの活動の様子や「せせらぎスクール」参加者の地域環境に対する気持ちの変化などを伺うことができました。身近な川に入って水生生物調査を行い自然（川の水・水生生物・水草など）と触れ合った時に感じる『自然の美しさ』や『楽しさ』、また『この川を大切にしていきたい』という気持ちが芽生える瞬間が多かったのではないかと思います。このような経験を持つことは非常に大切なことです。

川に入り、川の水や水草などに触れることで自然の美しさを肌で感じるだけでなく、水生生物を採集する中で自分たちの普段の生活が、その川に住む生き物に影響を与えていることに気付かされます。水生生物が成虫になって生活する陸上の（河川周辺）環境に目を向け、『自分にできることは何か』を考えるきっかけにもなります。

「せせらぎスクール」は、自然と触れあう楽しい活動であるだけでなく、参加者に地域環境に対する考え方や生き方を変えるきっかけを与えます。

この福島県の美しい環境を後世につないでいくためには、与えられた地域環境に感謝して、大切に後世につないでいく意思を持つ人が、一人また一人と増えていく必要があります。県内各地で、環境活動に取り組む学校や団体等の地道な環境活動の積み重ねによって、現在の福島県の環境が維持されていますが、持続的に後世につないでいくためには、より多くの県民に、特に未来を担う青少年の心に『地域環境を大切にしたい』という意思が芽生える教育環境を与えるとともに、それを導く指導者を育成していく必要があります。環境に対する意識と生き方を変える入り口となるのが「せせらぎスクール」であり、この活動を県内の多くの学校や団体等に広げていけるよう取り組んでまいります。

福島県環境創造センターでは、引き続き「せせらぎスクール」の活動に必要な資材を提供し、また、せせらぎスクール指導者養成講座の開催に取り組んでいく予定です。また、「せせらぎスクール」の参加者が感じた『楽しさ』や新たな気付きを得た参加者の『感想』をまとめた「せせらぎスクール推進事業報告書」や「せせらぎスクールうつくしま川の体験マップ」を配付して、多くの方が「せせらぎスクール」を知り、「せせらぎスクール」に参加して、自然と触れ合う楽しさと地域環境を守る意識を共有し、身近な環境保全活動に取り組む人を着実に増やしていけるよう、今後も取り組んでまいります。